

旭川市立緑が丘中学校
令和5年度 生徒・保護者アンケートの集計結果

【生 徒】						【保護者】					
取組の重点	質問項目	A	B	C	D	質問項目	A	B	C	D	
		そう思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない		そう思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない	
充実した学校生活	学校の生活に充実感を感じていますか。	64	28	5	3	お子さんは、明るく元気に学校に通っていますか。	57	30	8	6	
	「あいさつ」を意識して生活することができましたか。	70	25	4	2						
	「けじめのある言動」を意識して生活することができましたか。	60	34	4	2						
主体的な学習	授業参加の三原則「気構え・身構え・物構え」を意識して授業に臨めましたか。	59	33	5	2	お子さんは、家庭学習（学校外での学習を含む）に取り組むことができていますか。	34	32	24	11	
	課題や見通しをもち、主体的に授業や学習に取り組めましたか。	55	36	6	3						
	授業で、「深い学び合い」を実感できましたか。	57	33	8	3						
	授業で、学んだことを整理する時間が保証されていますか。	45	42	10	3						
	毎日の家庭学習（学校外での学習を含む）に取り組むことができましたか。	35	35	23	7						
ICT	各教科の授業や校内の取組の中で、タブレットなどのICT機器が活用されていますか。	69	26	4	2	ご家庭では、学校のタブレット等のICT機器の活用に関わることを耳にする機会はありましたか。	26	45	21	8	
道徳	道徳の授業では、他の人の考え方や感じ方を理解しながら、向上心や思いやり、社会のルールなどについて深く考えることができましたか。	66	28	4	2	ご家庭では、命の大切さや思いやり、社会のルールについて話をすることがありますか。	38	53	8	1	
個と集団	学校や学年の行事に関わる活動を通して、自分が成長したり、集団の力が高まったりする実感がありますか。	68	26	3	3	お子さんが進んで行事に取り組んでいる様子が見受けられましたか。	55	29	11	4	
	校則の見直し等を通じて、自分たちの生活を見直すことができましたか。	69	25	4	3	ご家庭では、いじめ問題やいじめは許されない行為であることについて話をすることがありますか。	40	48	10	2	
いじめ	「いじめをしない・させない・許さない」学級や学校を意識していますか。	85	12	1	3	お子さんは、悩み事や困り事があれば保護者に相談していますか。	29	51	19	1	
	悩んだり、困ったりすることがあったとき、まわりの人に相談できました（できます）か。	57	26	12	6	お子さんの相談事を学校に伝えやすい雰囲気ですか。	24	54	19	3	
進路	進路や職業に関する学習などを通して、自分の将来について考えることができましたか。	63	22	11	4	ご家庭では、お子さんの将来のことや働くことの大切さなどについて話をすることがありますか。	52	41	6	1	
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	79	16	2	3						
家庭	スマートフォンやタブレットを使用する際に、学校や家庭で指導されていることを理解し、正しく使用していますか。	71	24	3	2	ご家庭では、スマートフォンやタブレット、インターネットの使用のルールやモラルなどの指導を十分にされていますか。	31	54	15	0	
	学校での生活について、家庭で話をしていますか。	54	27	14	5	ご家庭では、参観日やホームcoming、学校からのおたよりなどを通して、学校の様子を理解されていますか。	22	58	17	3	
部活動	（加入者のみ）部活動で身につけた礼儀や粘り強く努力する姿勢などを日常の生活に生かすことができましたか。	67	26	5	2	（お子さまが加入されている家庭のみ）お子さんの部活動でのがんばりが、心身の成長につながっている実感はありますか。	54	30	11	4	

☆本年度の学校経営方針における重点に対する数値目標（高評価～そう思う、まあまあ思うの割合）と集計結果の比較・昨年度との比較					集計結果	（昨年度）
1. 学習指導	（1）家庭学習の取組と 学力向上に向けた学習指導	生 徒アンケート「家庭学習の取組」	→高評価が75%以上	⇒	70 %	（69 %）
		保護者アンケート「家庭学習の取組」	→高評価が75%以上	⇒	66 %	（68 %）
	（2）ICT の活用	保護者アンケート「ICT 教育への理解」	→高評価が50%以上	⇒	71 %	（25 %）
2. 心の指導	（3）教育相談体制	生 徒アンケート「困ったことの相談」	→高評価が90%以上	⇒	83 %	（83 %）
		保護者アンケート「学校への相談」	→高評価が70%以上	⇒	78 %	（76 %）
	（4）校則の見直し	生 徒アンケート「自分の生活を見直すことができたか」		⇒	93 %	今回からの新項目
3. 連携指導	（5）保護者への情報発信	保護者アンケート「学校の様子の把握」	→高評価が90%以上	⇒	80 %	（79 %）

本年度の学校経営方針における重点	集計結果	見解と方策
学習指導 家庭学習への取組と 学力向上に向けた学習指導	家庭学習に十分取り組めている生徒が 70% （昨年比 1%増）	日々の家庭学習に取り組んでいるとの回答が昨年と同じような割合ですが微増しました。学校では家庭学習や副教材の活用の仕方の具体的な指導、ICT機器を有効に活用した課題に取り組んでおり、授業で学習したこと振り返りや、家庭学習でのICT教材の活用も各教科で進めています。保護者の回答が昨年比減になっている中に子どもが家庭において各種メディア（SNS、ゲーム、TV等）のメリハリをつけた利用がなかなかできないとの声もありました。引き続き、学校でもICT機器の学習ツールとしての適切な利用を指導してまいります。家庭においても規則正しい家庭学習の取組についての働きかけをお願いします。
	我が子が家庭学習に取り組んでいると感じる 保護者が 66%（昨年比 2%減）	
ICTの活用	ICTの活用について耳にする機会がある 保護者が 71%（昨年比 46%増）	本校の授業や諸活動の中でのICT機器の活用は全体的にも高く評価されているところです。また、参観日等でICTを活用する生徒の姿を保護者の皆様に見ていただく機会も増えました。本校ではICTありきでなく必要な部分で効果的に活用し、子ども達にこれからの社会に必要な能力やデジタルシチズンシップを育めるよう取り組んでおります。ホームページ等でも教育実践を発信しています。ぜひ、お子様がICT機器を活用して学習している姿をご覧いただきたいと思います。また、各種メディアの正しい利用や機器の取扱に関する指導には各家庭の理解と協力が不可欠です。子ども達の安心安全、かつ便利なツールの効果的な活用のために、協力をお願いいたします。
心の指導 教育相談体制	困りごとを周りに相談している生徒が 83% （昨年比 ±0%）	困りごとを相談できている生徒と昨年と誰にも相談できない生徒が昨年と同じ比率であります。学校では温かな人間関係を構築する働きかけや教科に関する相談も含めて担当の教員に相談しやすい雰囲気づくりを進めています。日常的な生徒との関わりと見守りと、困り感を抱えた生徒にいち早く気づく努力を続けます。数値の昨年比からも保護者の皆様から担任等への相談も日常的に行われるようになってきたことがわかります。今後も学校では積極的にご家庭と情報を共有していきますので、ともに子どもの声を聴いてまいりましょう。
	学校へ困りごとを相談しやすい保護者が 78% （昨年比 2%増）	
校則改定の取組について	自分の生活を見直すことができた生徒が 93% （今回からの新項目）	本校では昨年度より校則改定に向けた取組を生徒会が主体となって行っているところです。生徒会の呼びかけのもと、生徒一人一人が自分たちの生活や規則を見直し、より実効的なものを作り上げようとしています。具体的には、冬期間の登下校時のブレザー着用に関することなど、試行期間を設けたり、その状況を分析して全校生徒に呼びかけるなどの活動が行われています。生徒も学校生活を見直すよい機会になったようで、数値も高いものとなりました。今後も続いていくこの取組ですが、単に楽な生活を追求するものにならぬよう、しっかり今後の自分たちの生活を考えさせていきたいと考えております。
連携指導 保護者への情報発信	学校の様子を理解している保護者が 80% （昨年比 1%増）	コロナ5類移行以来、徐々に制限されていた活動が元に戻ってきており、各種行事を参観される保護者の皆様の姿も多く見られるようになりました。数値も昨年比で微増しています。引き続き、参観日での懇談会をはじめとして学校からの通信など紙面とメールの両方で情報提供をするともに、生徒一人ひとりのニーズに応える具体的な情報共有も続けてまいります。定期的に行われる教育相談等に限らず、遠慮無くお声がけください。

◎他にも自由記述の回答で、具体的な懸念事項など多くの意見をいただいております。全てに目を通したうえで、それぞれ対応する部署等で検討し、それを踏まえて次年度の計画策定に活かしてまいります。